

堺町生産組合（新潟県長岡市）

組織の概要

- 平成19年5月設立
- 構成農家：28戸
- 大豆転作組合として集落の大豆生産を担い、水田の有効活用を図っている。
- H24年度 全国豆類経営改善共励会（集団の部） 北陸農政局長賞受賞



生産概要

- 【作付面積】水稲：60.5ha、大豆：25.3ha（R3年）
- 【主な作付品種(大豆)】 エンレイ、里のほほえみ
- 3年ごとのブロックローテーション（水稲→水稲→大豆）
- 需要の拡大に対応するため、大豆の作付を拡大。



【大豆ほ場の様子】

取組のポイント

<団地化の取組>

- 堺町農家組合と、需給調整やブロックローテーションの実施方法について地元調整することで、大豆の団地化を推進。

<需要に応じた生産の取組>

- 県が主催する大豆実需者との意見交換会に参加し、実需者の求める大豆について情報収集を行う。

<生産性向上と環境調和に応じた取組>

- 大豆の生育に大きく影響を与える湿害の対策として、弾丸暗渠の施工や、耕うん同時畦立て播種を実施。
- 土壌診断に基づく酸度矯正資材の散布等により、生産性向上を図る。
- 環境と調和した持続可能な生産を目的に、化学肥料や化学農薬の使用量を県の慣行レベル以下かつ前年より1割以上低減する。

【土壌分析結果】

取組成果

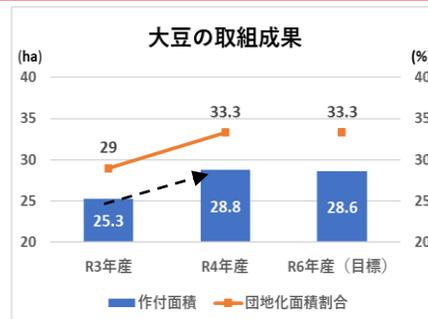
<需要に応じた大豆生産の拡大>

- 作付面積（R6目標：28.6ha）
R3：25.3ha ⇒ R4：28.8ha

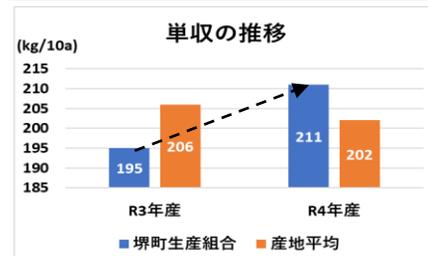
<ほ場の団地化により効率的な栽培を実現>

- 団地化面積割合（R6目標：33.3%）
R3：29.0% ⇒ R4：33.3%

- 単収
R3：195kg/10a ⇒ R4：211kg/10a
(産地平均)
R3：206kg/10a ⇒ R4：202kg/10a



目標の早期達成



産地平均を上回る単収の実現